

## 平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

### 生徒指導論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 日本国では成人年齢を現行の 20 歳から 18 歳に引き下げる改正民法が 2018 年 6 月 13 日の参議院本会議において賛成多数で可決され、成立した。これは約 140 年ぶりの成人の定義の変更である。次頁以下の「18 歳成人」問題に関する資料 (1～5) を読み、次の問に答えなさい。

まず、「18 歳成人」問題に対する教育界 (大学に所属する識者) の考え方を、対極的な 2 つの立場に整理して記述すること。その際、それぞれの立場を示すキャッチフレーズ (例、「〇〇を重視する立場」等) を上げ、その後に簡単な説明を書くこと。

次に、2 つの立場の意義と限界 (問題点) について自らの考えを記述すること。

問題 2 次の問題の中から 1 問を選んで簡潔に説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。

1. 「特性・因子論」(F. パーソンズ)
2. 「校内暴力」
3. 「考える道徳」「議論する道徳」

問題 3 日本の中学校における道徳教育は、平成 29 年 7 月の学習指導要領解説編において、「道徳教育そのものを忌避しがちな風潮があること」「他教科等に比べて軽んじられていること」「読み物の登場人物の心情理解にのみ偏った形式的な指導が行われる例があること」という問題点が指摘されている。このような問題を抱えた歴史的・社会的な背景や学校 (教員・生徒) の事情について記述しなさい。

資料1 出典：2018年6月14日 毎日新聞

資料3 出典：2018年7月18日 北海道新聞

資料5 出典：2018年8月2日 毎日新聞

資料4 出典：2018年5月10日 毎日新聞

平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

教育行政学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 日本国では成人年齢を現行の 20 歳から 18 歳に引き下げる改正民法が 2018 年 6 月 13 日の参議院本会議において賛成多数で可決され、成立した。これは約 140 年ぶりの成人の定義の変更である。次頁以下の「18 歳成人」問題に関する資料 (1~5) を読み、次の問に答えなさい。

まず、「18 歳成人」問題に対する教育界 (大学に所属する識者) の考え方を、対極的な 2 つの立場に整理して記述すること。その際、それぞれの立場を示すキャッチフレーズ (例、「〇〇を重視する立場」等) を上げ、その後に簡単な説明を書くこと。

次に、2 つの立場の意義と限界 (問題点) について自らの考えを記述すること。

問題 2 第二次大戦後の日本の教育制度はいかに教育の機会均等を保障しようとしたか、関連する法制に触れながら説明し、また論点をいくつか取り上げて論じなさい。

問題 3 日本の教育制度・行政に関わる以下の 5 つの用語のうち、2 つを選んで説明しなさい (選択した問題番号を明記のこと)。

1. 学校体系の 3 類型
2. 総合教育会議
3. 初任者研修
4. 養護教諭
5. 学習指導要領

資料1 出典：2018年6月14日 毎日新聞

資料3 出典：2018年7月18日 北海道新聞

資料5 出典：2018年8月2日 毎日新聞

資料4 出典：2018年5月10日 毎日新聞



## 平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

### 学校経営論

(250 点満点)

問題 1 日本国では成人年齢を現行の 20 歳から 18 歳に引き下げる改正民法が 2018 年 6 月 13 日の参議院本会議において賛成多数で可決され、成立した。これは約 140 年ぶりの成人の定義の変更である。次項以下の「18 歳成人」問題に関する資料 (1~5) を読み、次の間に答えなさい。

まず、「18 歳成人」問題に対する教育界 (大学に所属する識者) の考え方を、大局的な 2 つの立場に整理して記述すること。その際、それぞれの立場を示すキャッチフレーズ (例、「〇〇を重視する立場」等) を上げ、その後簡単な説明を書くこと。

次に、2 つの立場の意義と限界 (問題点) について自らの考えを記述すること。

問題 2 教員の多忙化が社会問題となる今日、教員は自らの職務に専念するためにも、学校内外の多様な専門職との協働を模索することが必要だとされている。そこで、以下の専門職の業務について具体的に紹介し、それらの職と教員が協働する目的、そして協働において課題となる点について論じなさい。

スクール・ソーシャルワーカー 部活動外部指導者

問題 3 日本の教育制度および学校経営に関する以下の 4 つの用語のうち 2 つを選び、それぞれを説明しなさい。(選択した用語の「番号」を明記すること)

1. 就学義務
2. 認定こども園
3. 分散型リーダーシップ
4. ゼロ・トレランス

資料1 出典：2018年6月14日 毎日新聞

資料3 出典：2018年7月18日 北海道新聞

資料5 出典：2018年8月2日 毎日新聞

資料4 出典：2018年5月10日 毎日新聞

平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

社会教育学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 課題文を読み、以下の問いに答えなさい。

問 1970 年代に提起された「学校化」という概念が持つ現代的意義について述べなさい。

出典:イヴァン・イリッチ(東洋・小澤周三訳)『脱学校の社会』東京創元社、1977年、13-14頁(原著 Ivan  
D. Illich, *Deschooling Society*, Harper & Row, 1970)

問題2 社会教育法第三条では、以下にあるように、「自ら實際生活に即する文化的教養を高め」ることについて言及されている。このことが同法において重視される理由について述べなさい。

<参考>

第三条 国及び地方公共団体は、この法律及び他の法令の定めるところにより、社会教育の奨励に必要な施設の設置及び運営、集会の開催、資料の作製、頒布その他の方法により、すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら實際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない。

問題3 次の語句から2つを選択し、簡潔に説明しなさい。選択した語句の番号を明記すること。

1. ユースワーク (Youth Work)
2. 社会教育士
3. ダブル・バインド (Double bind)
4. 意識化

以上

平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

高等継続教育

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 課題文を読み、以下の問いに答えなさい。

問 1970 年代に提起された「学校化」という概念が持つ現代的意義について述べなさい。

出典：イヴァン・イリッチ（東洋・小澤周三訳）『脱学校の社会』東京創元社、1977 年、13-14 頁  
（原著 Ivan D. Illich, *Deschooling Society*, Harper & Row, 1970.）

問題 2 任意の二カ国の大学における授業研究の動向を比較し、課題を述べなさい。

問題 3 次の語句のなかから二つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を明記すること。

1. 学問の自由と大学の自治
2. 夜間大学
3. 高等教育費と学生消費者主義
4. 大学の国際化

課題文

出典

イヴァン・イリッチ (東洋・小澤園三訳) 『脱学校の社会』東京創元社 1977年 13-14頁  
(原著 Ivan D. Illich, *Deschooling Society*, Harper & Row, 1970)



平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

青年期教育論

専門科目 (250 点満点)

問題 1 課題文を読み、以下の問いに答えなさい。

問 1970 年代に提起された「学校化」という概念が持つ現代的意義について述べなさい。  
出典：イヴァン・イリッチ（東洋・小澤周三訳）『脱学校の社会』東京創元社、1977 年、  
13-14 頁（原著 Ivan D. Illich, *Deschooling Society*, Harper & Row, 1970）

問題 2 青年期教育をジェンダー・センシティブな視点から論じることにかかわって以下の問いに答えなさい。

問 ジェンダーという概念のとらえ方には複数の見解や論争がある。それらを整理しつつジェンダー概念を説明しなさい。

問題 3 次の 1～4 の語句・事項の中から 2 つ を選 び 簡潔に説明しなさい。  
なお選択したものの番号を明記すること。

1. 共同学習
2. 中央教育審議会答申「後期中等教育の整備拡充について」（1966 年）
3. フリーター
4. 「<青年>の誕生」

## 課題文

出典

イヴァン・イリッチ (東洋・小澤圃三訳) 『脱学校の社会』東京創元社、1977年 13-14頁  
(原著 Ivan D. Illich, *Deschooling Society*, Harper & Row, 1970)

平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

産業教育

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 多様性の実現を重視する社会の実現を目指すために、教育が果たすべき役割について論じなさい。

問題 2 オイルショックの克服過程における企業経営の変化を教育訓練との関連で述べよ。

問題 3 次の事項の中から 3 つを選んで説明しなさい。選択した番号を解答用紙に明記すること。

- ① 「全面的に発達した個人」
- ② 近江絹糸争議
- ③ 重層的労働（力）編成
- ④ 職業別組合
- ⑤ 柔軟な専門化

平成31年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

職業キャリア教育論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 多様性を重視する社会の実現を目指すために、教育が果たすべき役割について論じなさい。

問題2 高学歴化の進展に伴って、日本や中国の高等教育機関においてキャリア教育や職業教育の重要性が高まっている理由を論じなさい。

問題3 次の7つの語句の中から3つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した語句の番号を明記すること。

1. コーオペ教育 (Cooperative Education)
2. エンプロイアビリティ (Employability)
3. ジニ係数
4. 就職協定
5. 職業統合的学習 (Work Integrated Learning : WIL)
6. グローバル人材育成
7. 計画的偶発性理論 (Planned Happenstance Theory)

平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

職業能力形成論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 多様性を重視する社会の実現を目指すために、教育が果たすべき役割について論じなさい。

問題 2 女性の管理職が少ない理由を、日本企業の雇用管理から説明し、女性管理職の拡充に向けて求められる取り組みを述べなさい。

問題 3 次の事項のなかから 3 つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

- ① 多国籍企業
- ② 目標管理制度
- ③ 外国人労働者
- ④ Off-JT
- ⑤ ワークライフバランス

平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

教育福祉論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 多様性を重視する社会の実現を目指すために、教育が果たすべき役割について論じなさい。

問題 2 日本の「子ども・家族福祉」の現状と課題を整理した上で、それらの課題を考察する際の研究方法と視点を具体的な先行研究をあげながら論じなさい。

問題 3 以下の 3 つのことがらから 2 つを選んで、それぞれ簡潔に解説した上で、関連する諸問題について論述しなさい。その際、選択した番号を明記すること。

- 1) 貧困測定
- 2) ケアの社会化
- 3) ケイパビリティ (capability)

平成31年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

教育社会学

以下の問題のすべてに答えなさい。

(250点満点)

問題1 多様性を重視する社会の実現をめざすために、教育が果たすべき役割について論じなさい。

問題2 階級とジェンダーおよびエスニシティの相互関係について考察しなさい。

問題3 次の語句の中から、2つを選び説明しなさい（選択したものを明記すること）。

- ①ダブル・バーレル質問
- ②身体化された文化資本
- ③ライフストーリー
- ④アノミー

平成31年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

乳幼児発達論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 心理学研究においては、教育や保育現場と関わりながら研究を行うことも多い。その際、研究者として気をつける点について、あなたの考えを述べなさい。

問題2 以下の6つの用語から3つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) 指さし (pointing)
- (2) 頭足人画 (tadpole)
- (3) 視覚的断崖 (visual cliff)
- (4) いじめの4層構造 (4 layers of school bullying)
- (5) 基本的信頼 (basic trust)
- (6) 自己同一性 (identity)

問題3 発達心理学の代表的な理論を2つ挙げ、それぞれが保育に関する考え方や保育の方法に与えた影響について論じなさい。



平成31年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

発達心理学

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 心理学研究においては、教育や保育現場と関わりながら研究を行うことも多い。その際、研究者として気をつける点について、あなたの考えを述べなさい。

問題2 以下の6つの用語から3つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) 指さし (pointing)
- (2) 頭足人画 (tadpole)
- (3) 視覚的断崖 (visual cliff)
- (4) いじめの4層構造 (4 layers of school bullying)
- (5) 基本的信頼 (basic trust)
- (6) 自己同一性 (identity)

問題3 思春期の心理的問題を1つ取り上げ、それについて「発達」という視点から論じなさい。

平成31年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

身体文化論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 ナショナリズムとスポーツについて近代における体育・スポーツ史の観点から論述しなさい。

問題2 次に示す用語から1つを選び、体育・スポーツの観点から簡潔に説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。

1. トウルネン
2. オリンピック・レガシー

問題3 東京帝国大学教授、大日本体育会理事が第二次世界大戦期の1943年に体操の現状について述べた右の文章を読み、「戦争と体操」と題する小論を作成し、自らの考えを述べなさい。

(出典：佐々木浩雄『体操の日本近代』青弓社、2016年、279頁)

平成31年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題  
(身体運動科学)

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 以下の問いに答えなさい。

- 問1) 常民と非常民の違いについて説明しなさい。
- 問2) 非常民が賤民とされた理由について説明しなさい。
- 問3) 非常民の身体儀礼について例を挙げて説明しなさい。

問題2 土着信仰のシャーマニズムと薬物効果の関係について具体例を挙げつつ説明しなさい。

問題3 先祖供養の儀式において墓前で酒盛りや饗食の宴を親族で行う風習があるが、この祝い事の祭りの背景にある死生観、生命観と親族における先祖の意味付けについて述べなさい。

平成 31 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

多元文化教育論

(250 点満点)

以下の問題のすべてについて解答しなさい。

問題 1 学校教育では、生徒のライフ・スタイル (生活様式;lifestyles) とライフ・チャンス (人生における機会;life chances) の関係が議論の対象となっています。

(1) ライフ・チャンスについて、背景となるメカニズムを含め、具体的にどのような事柄を指しているか述べなさい。

(2) ライフ・スタイルについて、2 つ以上の事例を挙げながら説明しなさい。

問題 2 アメリカ合衆国の歴史と社会に関係する次の項目の中から 1 つ を選び、200 字から 300 字程度で説明しなさい。選択した項目の番号を明記のこと。

1. 「旧移民」と「新移民」
2. 1924 年移民法
3. 公民権運動
4. アイデンティティ・ポリティクス
5. PC 運動

問題 3 以下の問題から 1 つ を選び、論述しなさい。選択した問題の番号を明記のこと。

1. 国民国家における公教育の一般的な機能と役割は何ですか。また、現代の多文化社会において、それらの機能と役割にかかわる問題にはどのようなものがありますか。例を挙げて論じなさい。

2. 次頁のニュース報道を読み、この出来事についての自分の考えを述べなさい。

出典 : CNN.co.jp 2018 年 10 月 15 日付ニュース記事  
(<https://www.cnn.co.jp/usa/35127015.html>)

※原典から写真を除外しています。